

令和7年2月 吉野町教育委員会定例会議 会議録

日時 令和7年2月18日(火)

午後2時00分～

場所 町中央公民館4F 教育長室

出席者：

吉野町教育委員会

土居正明(教育長) 松谷圭子(職務代理) 阪口榮治(委員) 六雄浄(委員)

事務局

丸上晶(教育次長) 紙森智章(生涯学習課) 山本英樹(教育総務課)

1. 開会挨拶(土居教育長)

2. 報告案件

報第1号 令和6年度吉野さくら学園卒業式・よしのこども園卒園式及び
令和7年度吉野さくら学園入学式・よしのこども園入園式について
…………事務局説明

① 日程

3月14日 9:00～ 中学校卒業式
3月15日 9:30～ こども園卒園式
3月19日 9:00～ 小学校卒業式
4月8日 9:30～ 小中学校入学式
4月9日 9:30～ こども園入園式

② 教育委員出席確認

報第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査結果及び
令和6年度全国・奈良県体力・運動能力調査結果について
…………事務局説明

① 全国学力・学習状況調査について

→ 小6(国・算) 中3(国・数)の概況説明

② 全国・奈良県体力・運動能力調査結果について

→ 小5、中2の概況説明

教育長：平均という数字だけでは、実態を表さない場合がある。参考までに。

「学校に行くのが楽しい」という項目がやや低め。これは非常に気になる。中学校の不登校の数も多いのはこういうところに関係するのではないか。子どもたちがどれだけ学校へ行きたいかという点を学校も考えるべき。体力面については、吉野町の調査結果は低い。これは単に運動能力が低いということ以外に、調査に臨む姿勢も関係するように思う。体力テストをやらされている感じだと

数字も伸びない。体力調査に一生懸命挑むという姿勢を学校が子どもに意識させることも必要だと感じる。

教育委員：学習面では、今まで吉野町は全国と比べて低い状態であったが、今回は少し上がっている。素直にうれしい。成績が上がっているのは、認めてあげてほしいし、二極化が見られるようだが、なぜ全体として上がったのかの分析もお願いしたい。体力テストも、教育長お述べのように、しっかりとした気持ちで受けるとまた結果が違おうだろう。

教育長：昔は田舎の子どもは体力があって都会の子より運動ができた。それが今は逆かも。

教育委員：確かに、田舎の人は車で何かと移動する傾向にある。町の人の方がよく歩いているかも。善し悪しは別として、子どもはバス通学。

教育委員：小中一貫になる前は、小学校で朝、校庭を走る時間があつた。朝運動して授業を受けると頭もすっきりして良いのかなと思う。運動と学業や不登校が関係しているように感じる。

先ほど中学校の数学の成績が高いという報告を受けたが、疑問を感じている。授業参観に行った知人の話によると、クラスで授業をしっかり受けている子が数人しかいないとのこと。寝てる、喋る、出席していない、とのこと。先ほどの全国学力テストで「数学が好成績であった」という報告も、不登校気味の生徒が未受験で、その分成績が上がったのかなと邪推してしまう。授業を受けようにも、周囲がうるさいと聞こえない。それで段々やる気をなくす子が増えてくるのかなと思う。そのような状況になる原因は不明だが、授業を受けようとしている生徒にとっては、かわいそうな状況。寝ている子をなんとか起こして授業を受けさせようとしている教師の姿もあるが、先生も大変だと感じる。

教育長：実情は把握している。授業が今の時代に求められるものになっているか、学校が楽しいと感じる子どもを作れているか、という課題をいただいていると思う。ただ、学年によって色はまちまち。ずいぶん違う集団であることは理解いただきたい。さくら学園は集団が小さいこともあり、様々な影響の広がりも速いし大きい。この件は学校とも話をして、しっかり注視していく。朝、校庭を走らせたなら授業に集中するかも、とか方法論はいろいろあるかもしれないが、根本として「学校に行きたいなあ」という子どもを

まず増やすこと。

教育委員：さくら学園は不登校児童生徒は多いのか。

教育長：割合的に、小学校はさほど多くない。中学校は多い。

小中の壁があることは課題。授業改善を考えながら中学校に進学した時のギャップをなくしたい。小中の先生で連携も取れているが不登校の改善とまで行かない。

教育委員：不登校の原因は難しい。勉強について行けないからか。

教育長：様々な個別の理由がある。

教育委員：近所に不登校だった子がいる。今は、自分で学校に行くと決めて、それを自分で貫いている。友達もできた様子。やはり自分を必要としてくれている人がいる。その場所こそがその子にとっての居場所になると思う。

教育長：先生方も不登校課題に一生懸命。しかし先生のエネルギーも限界があり、ご家庭との連携や相互の助け合いが大切。家庭と一緒に子どものことを考えたい。

報第3号 教育総務課事業説明について……事務局説明

- ① 吉野中学部活動地域移行の進捗について
→ 吉野さくら地域クラブ（バレーボール・陸上）がスタート
- ② R7 バス通学について
→ バス通学 157 名（自転車通学 15 名）
- ③ バス納車について
→ スクールバス 2 台、園バス 1 台が 3 月末に納車
- ④ 一人一台端末について
→ 5 年契約終了。令和 7 年 8 月にクロームブック再調達
- ⑤ よしのこども園大規模改修事業について
→ 令和 7 年 6 月改修内容の設計完了予定
令和 8 年 3 月改修工事完了予定
- ⑥ 学習机ワークショップについて → 3/27 開催
- ⑦ 高校生の通学定期助成について → 申請期間 3/1～3/31
- ⑧ 新保護者連絡システム → 4 月よりさくら学園でスタート

教育委員：中学校の部活動をたくさん辞めているように聞くと、現在部活動加入は強制ではないのか。また、地域クラブに入るには加入届が

必要とのこと。そこで子どもたちは「加入届を出さなければ地域クラブに入らずに済む」という発想になっている様子。

事務局：部活動は強制ではない。もちろん地域クラブも強制ではない。部活動にすごく熱心に取り組む子が減っているのかも。土日の試合に参加することに後ろ向きな子もいる。

教育長：現在は、部活動への思い入れが生徒、学校ともに小さくなっているのかも。私たちの時代は、良き思い出をたくさん部活動から得たものだが。今後は平日も地域クラブとなって、先生が全く関与しないこともあり得る。

報第4号 生涯学習課事業説明について……事務局説明

- ① 吉野町地域日本語教室「吉野つながる日本語教室」提言書について
→ 吉野町における多言語多文化共生社会への取組の必要性
- ② 令和6年度奈良県学校・地域パートナーシップ事業実施報告について
→ 概況説明
- ③ 吉野町地域学校園協働活動アンケート結果
→ 概況説明
- ④ 学校運営協議会について → 2月27日開催予定
- ⑤ 後援行事終了報告
→ うさぎワンダーランド、池田克己命日コンサート

教育委員：池田克己命日コンサートに参加したが、吉野の文化の高さを感じた。吉野は環境も素晴らしいが、人的にも素晴らしい人がおられるし、多方面からお越しいただける。吉野で文化活動が大きく動き始めている。高いレベルの活動を見ることができて本当にうれしかった。

教育委員：吉野から著名な方がたくさんおられてもっと勉強したいと思う。子どもたちにも高い文化水準を伝えていきたい。

3. その他事項

4. 閉会挨拶（松谷教育長職務代理者）